

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

「西多摩のにぎわい」二段重 予約受付中

地産地消のおせち 福生市の料亭「幸楽園」が提供

新しい年は、地産地消のおせち「西多摩のにぎわい」二段重をお膳に迎えませんか。創業70年を迎えた福生市熊川1018の料亭「幸楽園」が、西多摩産食材をふんだんに使った昔ながらの正統派おせちを用意。予約を受け付けている。

「西多摩のにぎわい」は昨年からの提供を始めた。多くの高評価の声をもらい今年も販売を決めた。秋川漁協から仕入れた天然の江戸前鮎や日の出町で畜養されたアワビなど



父の背中

■ 31 ■

先代の仕事と教え

「困っている人を見ると、助けずにはいられないのが曾祖父の性分。そこに私利私欲はなかったと思う。東山がしてきた

弱きを助け、強きを挫く

いわゆる「正史」には登場しないものの、知る人ぞ知るといえる人物がいる。西多摩の郷土史でいえば、飛田東山氏がそう。戦前から戦後と昭和の建設労働史を陰で動かした曾祖父について、東山園社長の飛田雪人氏が語る。

「幼少期から『ひいおじいちゃん』は凄い人だったんだよ」と聞かされて育った。地域の有力者たちからは東山の多彩な人脈について働く。やがて、同じ境遇の労働者たちに仕事を斡旋する飛田組を設立。

「困っている人を見ると、助けずにはいられないのが曾祖父の性分。そこに私利私欲はなかったと思う。東山がしてきた

秋川の江戸前鮎や日の出町畜養のアワビなど



れたアワビなど高級食材を取り入れ、埼玉県が主催する「彩の国の名工」を受賞した吉岩大志料理長が腕を振るった。

「西多摩のにぎわい」は、祝い鯛の姿焼き・国産活け車海老酒煮、「江戸前鮎」の梅煮、青梅市川鍋鶏卵「もみじたまご」の

味わい深い一品一品が堪能できる。一の重は、祝い鯛の姿焼き・国産活け車海老酒煮、「江戸前鮎」の梅煮、青梅市川鍋鶏卵「もみじたまご」の



西多摩の食材をふんだんに使ったおせち (写真はイメージ)

伊達巻、日の出町の畜養アワビの福良蒸し・姫サザエオランダ焼きなど。二の重は、あきる野産栗の渋皮煮、檜原産舞茸山椒煮などが

鮮やかに盛り込まれている。重箱のサイズは7寸(21センチ×21センチ)。和の伝統料理と創作料理が融合した二段重は、幅広い世代に喜ばれそう。価格は税込3万2400円。12月31日に店頭で受け取る。注文者全員に同店の食事券1000円をプレゼントする。福生市プレミアム商品券の使用も可能。限定20食なのでお早めに。問い合わせ、申し込みは042(551)0035まで。

東山園 飛田雪人氏



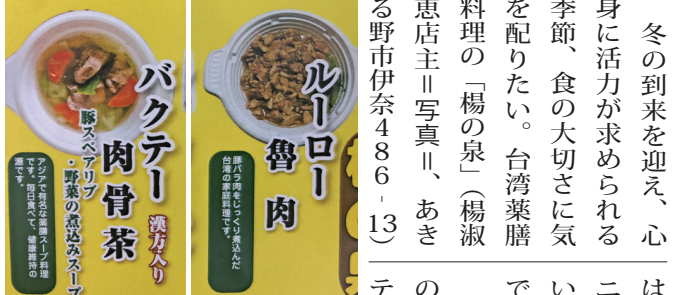
やはり立場の弱い労働者や被災孤児だった。彼らを自分の目の届くところに置き、よそからの不当な搾取を防いだ。

「曾祖父の心意気は、父、東児にも受け継がれている。桐朋高校から信州大学に進み、家業の道を選んだ。おだやかな人でバブル経済の崩壊で造園の仕事が減るなかでも浮利は追わなかった。地道にやれば報われると……」

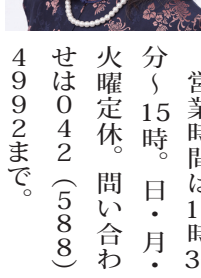
小河内ダムや軍需地下工場の建設も『みんなのため』ということが、いの一番に来る。だからこそ権力を笠に着た官僚や軍部ともタフな折衝を繰り返した。

終戦の秋には青梅に移住、翌46年に東山園の原点となる東山農園を開設。根ヶ布の天寧寺から借りた丘陵地1万数千坪を耕すのは、

元気をおいしく応援 「楊の泉」薬膳メニュー



冬の到来を迎え、心身に活力が求められる季節、食の大切さに気を配りたい。台湾薬膳料理の「楊の泉」(楊淑恵店主)写真、あきる野市伊奈486-13)の薬膳スープ「バクテリア肉骨茶」(650円)と台湾の名物料理「ルーロー」(550円)。バク



ルーローは豚バラ肉を秘伝のレシピでじっくり煮込んだごはんによく合う料理だ。このほか、「漢方薬膳カレー」もおいしい。「食生活が乱れがちな方はもちろん、美容に関心のあるもどうぞ」と楊さん。

営業時間は11時30分～15時。日・月・火曜定休。問い合わせは042(588)4992まで。

黒茶屋

あきる野市小中野167 ☎042-596-0129
令和4年11月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制)・土日祝は当日可(17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日(11月のみ)

晴庵

あきる野市小川633 ☎042-559-8080
令和4年11月の営業
<月曜日を除く全日> ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制) (17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日> ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日(11月のみ)

井中居

青梅市藤橋2-32 ☎0428-30-1661
令和4年11月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制) (17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日(11月のみ)

※新型コロナウイルスの感染状況等により、今後の営業内容を変更させていただきます場合がございます。

お越しの際はホームページが電話でご確認ください。